公益社団法人 大阪自然環境保全協会（natureOsaka） 夢洲生きもの調査グループ

大阪湾の未来の自然を、共につくる仲間になりませんか？

― 夢洲から描くネイチャーポジティブ（自然再興）への挑戦 ―



かつて大阪湾の海辺には、無数の渡り鳥たちが羽を休める豊かな干潟や湿地が広がっていました。大阪湾は埋め立てによりその環境は急速に失われ、夢洲や南港に奇跡的に残された渡り鳥の避難所（オアシス）も今、大きな危機に直面しています。

「埋め立て＝自然が消える」というこれまでの歴史を、私たちの手で変えてみませんか？ 私たちは単なる「ボランティアスタッフ」ではなく、これからの大阪湾の未来を共に考え、行動を創り出す「仲間」を求めています！

【ネイチャーポジティブ（自然再興）とは？】

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」とは、単に自然の破壊を止めるだけでなく、人の手で能動的に豊かな自然を回復軌道に乗せる新しい考え方です。夢洲をはじめ、南港・堺・岸和田など大阪湾全体の海や森をつなぎ、生きものと人が共生できる持続可能な未来の街づくりを目指します！

夢洲生きもの調査グループでは、これまでの私たちの活動について、先ずは知って頂き、出来れば定例のミーティングに参加して頂き、何かできる事を探して頂ければと思っています。知って頂ける内容は 沢山 あると 思っています。　その上で、次の様なアクションにつながって行ければと思います。

◆ 私たちが目指する２つのステップ＆ビジョン



❶ 夢洲の生物多様性ホットスポット再興

夢洲内の重要な生息地（ホットスポット）を保全・再生し、渡り鳥や湾内の生きものたちが安心して暮らす拠点を復活させます。



❷ 大阪湾全体の生態系ネットワーク

南港野鳥園、堺の浜、岸和田南大場跡地など点在する自然環境を線や面でつなぎ、大阪湾全体の自然再興プランを提案します。

★【大阪湾・未来の自然さがし】一緒にアイデアを形にしませんか？

＼参加型ワークショップを企画・運営から共に創り上げて行く（これからの構想）／

- **STEP 1** 現状を知る：これまでの啓発・環境データや、野鳥園・大阪湾岸の現地を知る
- **STEP 2** アイデアを練る：国内外の先進事例（RSPB 等）を参考に、みんなで理想の未来図を描く
- **STEP 3** 行動を起こす：ワークショップやフィールド観察会を企画・実施し、発信を広げる

■ 仲間づくり 募集・お問い合わせ

対象　　：鳥が好き、海が好き、環境保全やこれからの街づくり・未来づくりに関心がある方、どなたでも大歓迎！
活動内容　：夢洲生きもの調査グループからの情報提供、フィールド案内、意見交換など
応募・問合せ：件名を「夢洲 G（仲間づくり応募）」とし、下記メールアドレスまでお気軽にお送りください。
✉ E-mail: office@nature.or.jp（ネイチャーおおさか事務局）

メールニュース連載アーカイブ & 今後の活動スケジュール

■ メールニュース全 5 回連載「夢洲から描く大阪湾の自然再興」

natureOsaka にて 7 月～11 月に配信された連載記事です。大阪湾の歴史的背景から、夢洲の絶滅危惧種の現状、海外先進事例（RSPB）、そして未来へのネイチャーポジティブ提言まで詳しく解説しています。
公式ウェブサイトにて全文をお読み頂けます

回	タイトル・概要
第 1 回	大阪湾のなりたちと歴史、かつての原風景をたどる（古代の住吉浦や江戸時代の新田開発、干潟の歴史）
第 2 回	埋立ての歴史と、そこに生まれた「渡り鳥のオアシス」（南港野鳥園と夢洲湿地、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ）
第 3 回	動き出した巨大開発と、失われゆく「奇跡の湿地」（万博・IR 開発の加速、コアジサシ等絶滅危惧種の危機）
第 4 回	海外 に学ぶ「失われた湿地」の再生（英国王立鳥類保護協会RSPB の先進事例と自然再興へのヒント）
第 5 回	失われた夢洲から描く大阪湾の自然再興 ～未来へ～（2028 年以降のマスタープランへの提言とネイチャーポジティブ構想）

公式 HP リンク
QR コード第 1~5 回
（左から右）

■ 今後の説明会・フィールド案内・交流の予定

2026 年 11/14(土)-15(日)	大阪自然史フェスティバル 出展 長居植物園・自然史博物館にてブース出展＆仲間づくり呼びかけを行っています！ぜひお気軽にお立ち寄りください。
06 年 12 月中旬（予定）	【第 1 回】夢洲 G 活動説明会＆意見交換会 これまでの夢洲生きもの調査グループの動き、調査データ、大阪湾ネイチャーポジティブ構想の紹介と、今後の仲間づくりの話し合いを行います。 【フィールド案内】南港野鳥園 観察会＆ワークショップ
2027 年 1/17(土)	大阪自然環境保全協会 50 周年記念行事シンポジウム 協会 50 年の歩みとともに、夢洲 G の活動報告および協会内外の多様な仲間・団体との連携強化を広く呼び掛けます！
2027 年 1 月中旬（予定）	渡り鳥の飛来地である南港野鳥園での現地フィールドを歩き、生態系観察と今後のアクションに向けた現地交流会を開催します。
2027 年 1 月下旬以降	【第 2 回】説明会＆継続フィールド案内 仲間の皆さんに、夢洲生きもの調査グループからの色々な情報提供や、継続的な大阪湾環境保全・環境モニタリングを展開していきます。

【ご案内・お申し込み】
各種調査・フィールド案内の詳しい日時や場所、お申し込み方法は、natureOsaka HP およびメールニュースにて随時発表いたします。まずはお気軽にネイチャーおおさか事務局（office@nature.or.jp）までご連絡ください！